

日	月	火	水	木	金	土
				1日	2日	3日
 11/8 (日) 稗原総合文化祭・農業祭り				あいさつ運動	詐欺撃退 モデル地区指定式 安全安心教室	
4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
稗原いきいき福祉 交流大会			センター長会 (市役所)	☕ コミカフェ		
	習字教室	まめな教室	輝らきら体操 (交流)			出雲星空観望会 (~11日やまびこ館)
11日	12日スポーツの日	13日	14日	15日	16日	17日
	出雲駅伝		南部ブロック 研究会(乙立cc)	全国公民館研修会 島根県大会 (くにびきメッセ)	全国公民館研修会 島根県大会 (くにびきメッセ)	
しよくどう森々 (交流)		リリーハーモニー	輝らきら体操 (交流)			
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
		広報配布	ワンステップ (デコパージュカバン作り) 自治会長会	☕ コミカフェ	稗原いきいきクラブ	
	習字教室		輝らきら体操 (交流)			
25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
					広報臨時便 (文化祭関係) 文化祭実行委員会	
			輝らきら体操 (交流)			

※ 上記は、9月中旬時点の予定であり、追加および変更されていることがありますので、ご了承ください。

こーのこらむ

◆欧米では「子どもは成人したら実家から離れて暮らす」というのが定番である。◆日本は長い間続いた家制度や子どもを大切にする民族であったことから、子どもの誰かが家を継ぎ、親と同居する暮らし方が一般的となっている。◆ところがこの暮らし方も、しだいに欧米化してきていて就職や結婚を機に子どもが実家を離れていくことが多くなっている。たまたま稗原などの中山間地域や半島部等は子が出て行って、残ったのは親や祖父母だけとなる家が多い。反対にマンションや一戸建てがどんどん建っている地域は実家を出ていった人たちが住める住環境が整えられているということかもしれない。市の中心部でも実際は子が出た後、ドーナツ化現象となっているところもあるようであるが、同地区にマンション等も建っていることから、人口は変わっていないという結果となっている。◆欧米の子育ては幼くして部屋を与え、個性の伸長や独立できる能力や判断力の育成を促している。モンゴリアンである日本人は家族で集団生活し、食事や睡眠も集団であることが多い。◆稗原の少子高齢化は子が出た後、残ったのは親や祖父母だけとなる家が多い。◆新しい家ができず流入人口が少ないことも要因のひとつと考える。

センター長 高野 正次

集う・学ぶ・繋ぐ コミュニティセンター報

2026

9月号 No.374



【発行】稗原コミュニティセンター

TEL 48-0001 FAX 48-0048



hiebara-cc@local.city.izumo.shimane.jp

稗原コミュニティセンター

検索

稗原地区の世帯と人口

令和8年8月末現在(前月比)

世帯数 537戸(+1)

人口 1,417人(-3)

(男) 699人(-2)

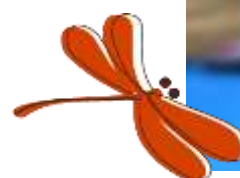
(女) 718人(-1)

稲刈り体験 9/8(火)



実りの秋

プルーン園見学 9/3(水)



9月に入り実りの秋を迎え、稗原地区でも収穫作業が行われています。9月4日(木)のプルーン園の開園を前に幼稚園児と小学1年生が見学に訪れました。プルーン園の児玉正光さんのお話を聞いた後、収穫したプルーンを試食させていただきました。園児は園内の探検、1年生はプルーンの写生を行いました。

8日には、雨天で延期になっていた稲刈りを行いました。毎年お世話になっている児玉功さんの圃場で5・6年生18名が“刈る・束ねる・ハデに干す”工程を体験しました。収穫した餅米は、文化祭の獅子舞パレードで配るお餅や新春餅つき大会で、ワラはしめ縄づくりに使う予定です。